

B 保健師（北保健センター 女性）

1. 派遣された期間

1月25日（木）～ 1月28日（日）

2. 派遣された場所

能登町他

3. 担当した業務内容

住民の健康観察

4. 派遣されたときの現地の状況

避難所によってはインフラ回復していた。回復していないところは水道が通っていなかった。

避難所は暖房が常についている状態であり、灯油で暖をとっている避難所もあり、乾燥がとても気になりました。

5. 被災者の様子

皆さん控えめな方が多く、大丈夫大丈夫とお話されますが、細かく聞き取っていくと実は血圧が高めであったり、下半身に浮腫みがあったりと症状がある方もいらっしゃいました。

また、仕事なども再開しており、避難所で会う方が主に高齢者の方や福祉支援を必要とする方が多かったです。

6. 避難所の様子

自衛隊の支援もあり、物資は十分すぎるほどあったと思います。

生活空間も、段ボールで仕切られていましたが、避難所によっては皆顔見知りだからとあえて段ボールで仕切りを作らずに、顔の見える環境で生活されている方もいらっしゃいました。

7. 現地で困ったこと

乾燥がひどく、爪が割れてしまいました。

また、大雪の日に派遣に行ったこともあり、歩きなれない雪道や寒さにとても苦労しました。

8. 派遣を終えて感想

いざ堺市が被災した際、転出入の多い地域だと横のつながりがないため、より行政がしっかりと状況把握に努め、必要な方に支援を届けなければいけないと思いました。

また、他県から応援に来ていただける際には、時系列を明確にし、常に最新情報が把握できるようにすることや、各役割を明確にして窓口を分かりやすくする(もしくはワンストップにする)ことなどが工夫点として求められると感じました。